

(4ページより)

(3) IDEAL <http://www.idealibrary.com/>

Academic Press 社, W.B. Saunders 社, Churchill Livingstone 社によって提供されているサービス。医学・生命科学関連では80誌程度の利用が可能である。2000年度については, 利用契約を行なう予定であり, 全ての機能が利用できることになる。

(4) LINK <http://link.springer.de/>

Springer-Verlag 社とそのグループが提供するサービスで, 医学・生命科学関連では180誌程度の利用が可能である。筑波大学で購読している雑誌については, 全文の参照が可能である。

(5) InterScience

<http://www.interscience.wiley.com/>

John Wiley & Sons 社の提供するサービスで, 医学・生命科学関連では100誌程度の利用が可能である。筑波大学で購読している雑誌については, 全文の参照が可能である。

(6) FirstSearch Electronic Collections Online

<http://www.oclc.org/oclc/menu/eco.htm>

OCLC 社の提供するサービスで, 50の出版社による2200誌の情報を FirstSearch というデータベースとリンクさせて提供する。(下記, Ask Us 記事参照)

(7) CatchWord <http://www.catchword.co.uk/>
CatchWord 社が提供するサービスで, 32の出版社の390誌の情報を提供するが, 医学・生命科学関連では120誌程である。RealPage という専用のソフトウェアが用意されている。

(8) Current Contents Connect

<http://connect.isihost.com/>

ISI 社の提供するサービスで, Current Contents と連携し, 各出版社の提供する1次情報とのリンクがなされている。

(9) SilverLinker

<http://www.silverplatter.com/silverlinker/>

SilverPlatter 社の提供するサービスで, 自身では1次情報はもたず, 各出版社や各施設で提供している1次情報に直接リンクをつける機能を備えている。

(10) ProQuest <http://www.umi.com:8090/proquest/>

Bell & Howell Information and Learning 社(旧 UMI 社)の提供するサービスで, 保健医療関係の約400誌の情報を提供。

(たかだ・あきら 臨床医学系助教授)

ASK US としょかんミニガイド

FirstSearch について

Q: 図書館のホームページから論文検索をしようとしたら, FirstSearch というメニューがありました。これはどういうものですか?

A: FirstSearch というのはデータベースシステムの名称です。アメリカの OCLC (Online Computer Library Center) が提供しているオンラインデータベースシステムで, インターネットを通じて WWW ブラウザ上で, 人文, 社会, 経済, 科学, 工学, 医学など様々なジャンルの欧文データベースを検索することができます。

筑波大学からは, FirstSearch で提供されているデータベースのうち約50種類のデータベースをご利用いただけます。図書館内ではもちろん, 研究



図1 FirstSearch の案内ページ

室など、学内の端末からアクセスできます。

FirstSearch で利用できるデータベースの一例を次に示します。

Art and Humanities Search (人文科学)
Art Abstracts (芸術)
PsycFIRST (心理学)
PCI-Periodicals Contents Index (人文社会)
Index to Legal Periodicals & Books (法学)
Econlit (経済学)
BasicBIOSIS (生物, 生命科学)
AGRICOLA (農学)
GEOBASE (地球科学)
Applied Science & Technology Abstracts(応用科学)

各データベースの内容、収録年代等の詳細につきましては「FirstSearch データベース一覧」をご覧ください。(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/reference/fs-db.html>)

Q : 検索方法を教えてください。

A : それでは、検索手順を簡単に説明いたします。

1. 利用者認証

検索画面へは、まず筑波大学電子図書館のトップページ(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/>)を開き、「学術論文情報データベース」「FirstSearch」とリンクをたどります。

FirstSearch の案内のページ(図 1)になりますので、「FirstSearch への接続」をクリックします。

新しいブラウザが開いて「FirstSearch 利用者認証」という画面が現れます。画面の指示に従って利用者 ID を入力してください。認証後、自動的に FirstSearch に接続して「FirstSearch Home」という画面が現れます。この Home 画面上で検索を行うことができます。

2. データベースの選択

FirstSearch のセッションに入ったら、まず、検索主題にあったデータベースを選択する必要があります。先に挙げた「FirstSearch データベース一覧」のページなどを参考にして選択してください。データベースの選択は一回の検索時に1つです。

「FirstSearch Home」の画面には2つのメニューがあります。右側の「Search a database」は実際に検索を行うためのメニューです。利用するデータ

ベースが決まっていれば、テキストボックス下のプルダウンメニューよりデータベースを選択し、テキストボックスにキーワードを入力して [Search] ボタンをクリックすると、選択したデータベースでの検索が行われます。

どのデータベースを選択すればよいかわからない場合には、Home 画面左側の「Suggest best databases」のメニューを利用します。このメニュー上で、テキストボックスにキーワードを入力し、プルダウンメニューよりカテゴリを選択して [List] ボタンをクリックすると、カテゴリに該当する複数データベースでのヒット件数が列挙されます。この結果をもとに、入力したキーワードにふさわしいデータベースを選択することができます。データベースは雑誌論文を収録したものばかりではありません。WorldCat のように図書館の所蔵目録も含まれています。ヒット件数とあわせて、データベースの内容にも注意して選択してください。

3. 検索方法

検索は基本的に、テキストボックスにキーワードを入力し、チェックボックスなどで検索条件を指定して [Search] ボタンをクリックするという方法で行います。検索が行われ、ヒット件数とヒットレコードの簡単なリストが表示されます。

キーワードは単語単位で入力します。2つのキーワードをともに含む文献を探すときは、キーワードの間に and を入力してください。2語以上からなるフレーズで検索する場合には、文字列を "" (ダブルクォーテーション) でくくります。

入力したキーワードと、データベース内で採択されている用語とは必ずしも一致しないため、キーワードによっては文献がうまくヒットしないことがあります。

検索結果が思わしくない場合は、「Suggest best databases」メニューでキーワードにふさわしいデータベースを選択し直したり、またデータベースによってはシソーラスというキーワード辞書が用意されていますので、これを用いて適切なキーワード (Subject Heading) を探して検索してください。シソーラスを検索するには、画面左フレーム部分 (青色の部分) の「Databases」メニューで

検索したいデータベースが選択されていることを確認した上で、「Searching」メニューを選択すると、「Basic Search」という検索画面が開きますが、この画面の右上に[Subjects]というアイコンが出ている場合には、シソーラスを検索できます。

キーワードの選択に留意して、効率の良い検索を行ってください。

4. 結果表示

検索後の「List of Records」画面で各タイトルの部分をクリックすると、詳細情報が表示されます。

印刷する場合は、画面右上の[Print]というアイコンをクリックしたあと、ブラウザの印刷機能

を使って印刷してください。

5. 終了

検索終了後は、画面左フレームのメニューより「Exit」をクリックしてセッションを終了し、検索に利用したブラウザを閉じてください。

操作方法の詳細につきましては、次のホームページ上をご参照ください。

(<http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/reference/fs/fshelp.html> は、学内からのみご覧になれます。)

データベースの選択や操作方法などは、各館レファレンスデスクまでお気軽にお尋ねください。

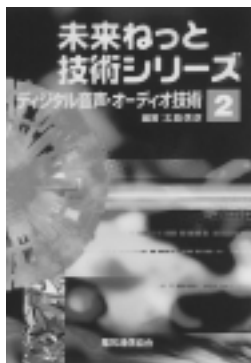
私の一冊

北脇信彦

「デジタル音声・オーディオ技術

未来ねっと技術シリーズ 2」

北脇信彦編著（オーム社）〔中央図 547.33-Ki73〕



携帯電話の加入数が固定電話を上回る勢いで伸びている、音楽はネットワークによる配信が主流になるかもしれないなど、マルチメディア通信技術が社会の仕組みを大きく変えようとしている。デジタル音声・オーディオ技術は、このようなマルチメディア社会を支える重要な基盤技術である。その出発点は、1948年に発表された Shannon の論文 “A mathematical theory of communication” であろう。Shannon はこの中で情報源符号化及び通信路符号化の理論について述べた。しかし、その後50年の符号化法に関する理論の発展とその応

用は、Shannon の予想をはるかに上回るものだったに違いない。

私が筑波大学に来る前に勤めていた会社で、入社したときに薫陶を受けた板倉文忠博士（現名古屋大学教授）は、世界ではじめて音声の分野に統計的デジタル信号処理理論を持ちこみ、低ビットレートでの音声符号化方式を実現させた。この流れを受け継ぎ、私たちのグループでは、インターネットなどで用いられている ITU 国際標準音声符号化方式、MPEG 国際標準音楽符号化方式、わが国の携帯電話標準音声符号化方式などを開発した。この本は、これらの方式の発明に携わった研究者たちが分担執筆したものである。

この本では、音を收音し、伝送・蓄積・処理し、再生する一連の過程をトータルなシステムとして捉えて述べるとともに、それぞれの要素技術を体系的に解説している。第1章では未来ネットワーク時代に向けたデジタル音声・オーディオ技術の果たす役割と基礎技術、第2章は音声・オーディオ信号の符号化、第3章では未来通信システムを構築する上で必要となるデジタルオーディオ・音響技術について、具体的システムイメージを示しながら述べている。お役に立てれば幸いである。

（きたわき・のぶひこ 電子・情報工学系教授）